

災害の教訓

このたびの台風8号の上陸ならびにその後の線状降水帯の大雨による被害は、当町に大きな傷跡を残しました。町内では40軒以上の浸水被害、およそ70戸の断水などの被害を受けました。特に、松崎町の観光の牽引的な地域である雲見地区では、新型コロナウイルスの感染拡大により、辛酸をなめるような基幹を耐え忍び、三年ぶりの行動制限のない最盛期の夏を迎えた矢先の出来事でした。

町といたしましては、すぐさま災害対策本部を立ち上げ、社会福祉協議会への災害ボランティアセンターの速やかな立ち上げ依頼など、対応に尽力させていただきました。

しかしながら、発災後の対応については、被災地、被災者の皆さま方からのご意見、ご要望に対し、努力はしていたものの、思うような対応ができずにおりました。防災対策に待った無し。今回の災害において、数多くの教訓をいただきました。この教訓を活かし、常日頃から関係各所との連携を密にし、より一層の防災対策に力を入れてまいります。

終わりに、たくさんの皆さまに多大なるご支援をいただきましたことに感謝申し上げます。